

億 1,207 万円計上



牛津駅周辺整備の 計画に着手

▲これからの開発が見込まれる牛津駅南周辺

平成30年度の一般会計当初予算は、対前年比でプラス3・9%、8億317万9千円の増となっている。

歳出の主なものは、乳幼児を持つ母親が子供と一緒に出勤できるオフィスを整備・運営する「子育てオフィス実証事業」、小城市民病院と多久市立病院との統合を視野に入れた建設候補地を調査する「公立病院統合検討事業」、可燃ごみ焼却施設の建設のための「天山区共同環境組合事業（建設）」、まちなか市民交流プラザ駐車場を拡張する「まちなか市民交流プラザ整備事業」、牛津拠点地区

市街地活性化のため「牛津拠点地区市街地活性化推進事業」「牛津まちなかにぎわい広場整備事業」「牛津駅周辺整備事業」「牛津子育て支援集合住宅整備事業」などを計上している。

平成17年3月に合併した小城市では当初、普通交付税の合併特例措置について、平成27年度以降5年間で段階的に縮減され、年間18億円程度の普通交付税が削減される見込みだったが、算定方法の見直しにより直近の試算では、年間約8億円の削減が見込まれている。その減額幅が緩和さ

れたとはいえ、市税やふるさと納税をはじめ自主財源等歳入の確保は最重要である。

歳入では、約19%が市税、約30%を地方交付税、約7%が市債が占めている。

平成30年第1回定例会は、3月7日に召集され、3月27日まで開催された。全部で28件の議案が提出され、その中で平成29年度補正予算関連7件、平成30年度予算関連13件、条例関連7件、委員の推薦・選任など1件となっている。採決の結果、全議案が可決された。（賛否表は8、9ページ）

平成30年度当初一般会計 216

平成30年度当初予算

会計区分	30年度予算額	前年度当初比較	
		差引増減	増減率
一般会計	216億1,207万円	8億 317万円	3.9%
特別会計	79億 708万円	△8億8,549万円	△10.1%
簡易水道特別会計	3,024万円	2,213万円	272.8%
下水道特別会計	24億9,801万円	1億7,909万円	7.7%
国民健康保険特別会計	48億3,639万円	△11億2,767万円	△18.9%
後期高齢者医療特別会計	5億4,243万円	4,096万円	8.2%

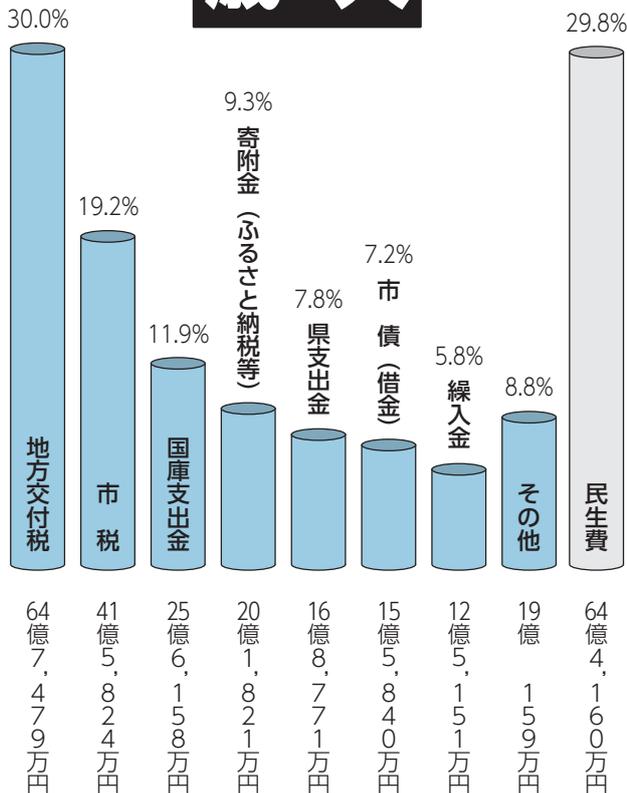
企業会計	30年度予算額	前年度当初比較	
		差引増減	増減率
水道事業会計	3億8,032万円	△2億1,034万円	△35.6%
病院事業会計	13億7,439万円	2,350万円	1.7%



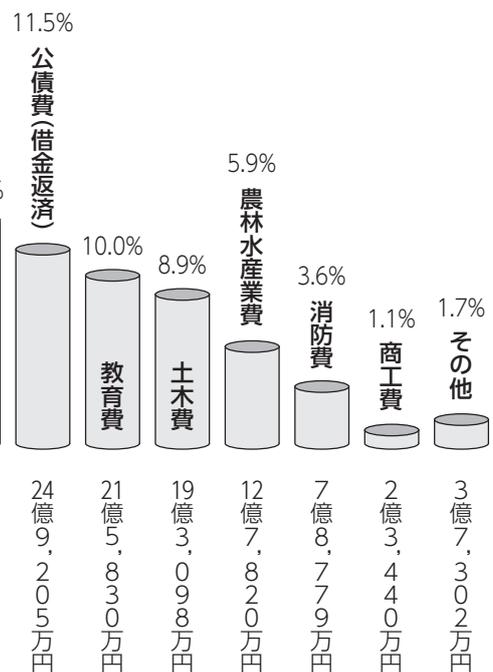
※万円未満は切り捨てています。

※人口は平成30年4月1日時点
※端数処理のため合計額は異なります

歳入



歳出



※端数処理のため合計額は異なります。 ※万円未満は切り捨てています。

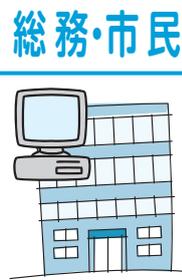
● 交流人口の増大に重点

支援

本市の行財政運営は、依然として厳しい状況にあるが、限られた資源、財源のなかで第2次総合計画に掲げた「誇郷幸輝」～みんなの笑顔が輝き幸せを感じるふるさと小城市～の政策の実現のため、多様な市民ニーズ、行政課題の解決にむけての対応が大きなテーマである。

人口減少をどうすれば食い止めることができるか、「移住・定住の推進」「子育て支援及び学校教育、幼児教育・保育の充実」「交流人口の増大」など小城市の取り組みを広く「知ってもらう」情報戦略が最重要と捉え、総務部内に総合戦略課、建設部内に定住推進課を新設するなど、庁内組織を再編した。

主な事業



総務・市民

LED防犯灯の補助事業

500万円

行政区が設置するLED防犯灯の経費を市が約2分の1を補助するもので、補助の上限は電柱共架方式は1万円。専用柱方式は4万円。平成26年からは200灯だったのを30年から3年計画で毎年500灯の設置をめざす。

旧芦刈庁舎跡地の整備

5,195万円

交換した芦刈保育園跡地と旧芦刈庁舎跡地周辺を駐車場(約150台分)

として整備する事業。

(新規) 公立病院 統合検討事業

1,135万円

事業費の負担割合は、小城市50%・多久市50% 小城市市民病院と多久市立病院の統合を前提とし、新病院設立候補地の選定を本年8月にコンサルティング会社へ発注し、本年12月の議会へ報告を行い、統合の可否を判断する。

(新規) 子育てオフィス実証事業

2,700万円

若い世代の転出や出生率の低下による人口減少に歯止めをかけ、「しごとができる小城市づくり」・「子は宝を育む小城市づくり」を実現するため、子育てオフィスを整備し働き方改革を推進する。

ふるさと納税の返礼

13億2,934万円

平成30年度は、ふるさと納税寄附額を20億円と見込み、寄附金額に応じ、お礼の品として小城市の特産品を送る事業です。ふるさと納税を何に使ったか「見える化」のため、1億円は、ふるさと応援基金として積立てる。

天山地区共同 環境組合事業

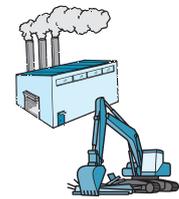
8億4,699万円

共同で多久市に建設する可燃ごみ焼却施設建設に要する経費として、平成30年度8億4,699万円を小城市が負担する。事業費の負担割合は、平等割20%(各市10%)人口割80%にし、合計で小城市65・32%、多久市34・68%となる。



▲多久市に建設予定の廃棄物処理施設の完成予想図

産業・建設



米・麦・大豆 振興対策

744万円

米・麦・大豆を組み合わせた生産性の高い水田農業の担い手の育成を確保する。また、産地の確立対策に必要な機械、施設等の整備に対する支援や効率的、安定的な農業経営体の育成や経営発展等を図る。

基盤整備促進事業

8,152万円

排水不良による水管理が困難な水田に暗渠排水を整備し、乾田化による二毛作や転作の推進等、営農環境の改善を図る。

(新規) インバウンド対策事業

1,277万円

佐賀県を訪れる外国人は年々増加し、小城市内でも外国の旅行者が増えている。このため外国人観光客が不自由なく市内を観光できるように、外国語のパンフレット作成、Wi-Fiの整備などの受け入れ態勢を整える。

耐震対策補助事業

634万円

木造住宅の耐震診断の補助を平成29年度から引き続き行うとともに、耐震診断の結果、耐震基準を満たしていない住宅の耐震改修にかかる費用に対して補助を行う。

移住・定住対策事業

6,495万円

定住人口の確保と地域の活性化を図るため、子育て世代等の定住を促進する。

まちなか市民交流プラザの整備

5,240万円

小城中心市街地活性化の中核施設であるまちなか市民交流プラザの施設整備後の課題となつてい



▲ゆめぷらっと小城周辺
駐車場

た駐車場不足を解消し、今後の利用増進を図る。

(新規) 牛津駅周辺整備事業

4,894万円

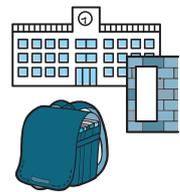
都市再生整備計画による牛津駅周辺(南北連絡軸となる自由通路と駅南広場)の整備。

(新規) 牛津子育て支援集合住宅整備事業

1,500万円

都市再生整備計画によるP・PFI事業を活用した子育て支援集合住宅の整備の可能性調査。

教育・文化・福祉



放課後児童健全育成事業

1億4,740万円

女性の就労機会や核家族化など家庭環境が変化する中、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に遊びや生活の場を提供する。市内8小学校内で17クラブを開設。

(新規) 学校給食センター調理配送業務等民間委託事業

714万円

学校給食法に基づき、児童生徒に安全で栄養に考慮した学校給食を提供するため、効率的な財政運営も含め事業の全般的

保育所等整備補助事業

1億9,290万円

な見直しに取り組み、現在の小城給食センターの業務のうち調理・配送業務の民間委託を実施する。

①牛津ルーテルこども園(認定こども園)の移転、増改築費用のうち保育所部分に対する補助
②小規模保育事業所(平成30年4月開所予定)の幼児用トイレ改修等に係る費用に対する補助
③牛津ルーテルこども園移転・増改築のため、園舎解体撤去に伴う補助金の返還

(新規) 保育士支援システム導入事業

500万円

市内私立保育園等の事務負担軽減のため、保育

に関する計画、記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の業務のICT化を行うために必要なシステムの導入に係る費用の一部を補助することにより、保育士確保及び保育の充実を図る。

小城明治維新150年記念事業

1,085万円

幕末・維新时期を中心とした小城の偉業・偉人を顕彰する展示会、講演会、案内表示板設置、資料集の刊行、映像資料の制作などを行い、明治維新150年を契機に、ふるさと小城への愛着や誇りの醸成を図る。8つの事業が計画されており、その一部に高田保馬博士顕彰会が入っている。



▲高田保馬博士胸像(ドゥイグ三日前)